

2 年 4 組 5 班の活動報告です。

◇ 研究テーマ「子供の貧困」

日本における子供の貧困の原因や、現状について調べ、そのことから私たちにできることについて研究や考察をしました。



◇ 実践したこと（フィールドワークなどで調べて分かったこと）

子供の貧困問題の原因の一つは、親の収入問題です。親が、定職に就けるような仕組みを作る必要がありますが、難易度は高いです。二つ目は、ひとり親家庭の増加です。離婚後の養育費を支払っていない父親は、八割以上であることが分かり、ひとり親家庭の貧困の原因の一つです。

貧困家庭の子供は、一般的な家庭と比べて学習環境が悪く学力も低くなる傾向があります。学力が低いと大学への進学はおろか、高校への進学も危ぶまれ正規雇用や低い給料で働く可能性が高くなります。このような悪循環により税金よりも、生活保護のような支出が多くなり損失が生まれます。

◇ 提案

教育支援（奨学金）

生活支援（厚生労働省の事業）

経済支援（手当や支給金）

寄付（クラウドファンディング）

寄付といえばお金をイメージする方が多いと思います。お金での寄付は多額の寄付でなくても少額からの寄付でも可能です。一人一人が少額でも多くの人が寄付をすればやがて大きな支援につながります。貧困家庭の支援団体の中には衣類の支援を募っているところもあります。子供の成長は驚くほど速く、一年もしたら着られなくなる衣服もあります。しかし、なかなか子供に必要な衣類をそろえることができないこともあります。このようなときに活躍します。

◇ 活動を通じて考えたこと

今瀬修大

日本は豊かな国だと思っていたが、意外と子供の貧困が深刻であることに驚きました。一人一人ができることは小さいように思えるけど、小さな積み重ねが大切だと思いました。

井原大翔

日本では、貧困があまり表に出てないが、実際に調べてみると、一定数いたことに、驚いた。今後、コロナによる貧困が増えると思うので対策が必要になると思う。

酒向快斗

少子化が進む日本の中でも7人に1人が貧困に悩んでいるという事実は知らなかったし、多くの人にも知られていない事実だと感じた。

佐藤圭

日本に貧困があることはあまり聞いたことがなかったが、調べてみて日本にも思ったより多い貧困の層がいることが分かり、貧困の支援としてたくさんの方を探ることができたので今後の生活で活かせることもあると思った。

遠藤凜

貧困への取り組みを調べると、使わなくなった文房具や服の寄付など、自分たちにもできそうなことがあったので、取り組みたいです。

楠本美桜

コンビニによったら、寄付しようと思った。小さなことでも少しずつ協力したいと思います。